

## 加古川中流圏域河川整備計画 加西ブロック第四回懇話会

### ＜ 議 事 要 旨 ＞

- 日 時 平成24年10月26日(月) 9:00～11:30
- 場 所 加西市役所 1階多目的ホール
- 出席者 9名  
(委員4名、事務局4名、関係機関1名、一般傍聴(報道関係者)0名)

	氏 名	所属・役職等	出欠
学識 経験者	かんだ けいいち 神田 佳一	明石工業高等専門学校 教授	○
地元	おうち りょうぞう 尾内 良三	加西ナチュラルリストクラブ 会長	○
	たまおき ひろみつ 玉置 博充	賀茂地区関係	○
	まつやま しげる 松山 茂	繁陽町関係	○
	さいめん としゆき 西面 壽幸	富合地区関係	—

(敬称略 順不同)

	氏 名	所属・役職等	出欠
事務局	山口 一哉	北播磨県民局 加東土木事務所 河川砂防課 課長	○
	関 正造	北播磨県民局 加東土木事務所 河川砂防課 課長補佐	○
	吉田 尚史	北播磨県民局 加東土木事務所 河川砂防課 職員	○
	恒藤 博文	県土整備部 土木局 総合治水課 計画係 課長補佐兼係長	—
	秋田 孝徳	県土整備部 土木局 総合治水課 調査環境係 主査	○

(敬称略 順不同)

	氏 名	所属・役職等	出欠
関係者	柴本次長兼課長	加西市都市整備部 土木課	—
	森主幹	加西市都市整備部 土木課	○

(敬称略 順不同)

	氏名・所属・役職等
事務局補助	田淵昌之、中道 誠、竹内義幸、大井清美 ((株)建設技術研究所)

---

□議事概要

1. 開会挨拶

: 兵庫県総合治水課 調査環境係 秋田主査

2. 出席者の紹介

(1) 懇話会委員の紹介 : 各委員 自己紹介

(2) 事務局の紹介

3. 前回の懇談会・地域ブロック懇話会の概要 : 事務局説明

4. 議事 1 (河川整備計画の目標に関する事項)

(1) 河川整備計画の目標に関する事項 (第 1 章第 3 節～第 6 節) : 事務局説明

(2) 討議

1) 河川整備計画の目標について

- ・ 11 月 23 日に加西市の防災マップの更新の説明会があるが、この整備計画が市の防災マップへ反映されるのか。(委員)
- ・ 防災マップは、現況河川に対する氾濫シミュレーションをもとに作成されるものであり、現況河川で起こりうる浸水状況について住民の皆様にお知らせするものである認識しており、今回の河川整備計画を考慮するものではない。(事務局)
- ・ 万願寺川の中野から繁昌にかけてカワウが多い。カワウによる影響なのか、小魚等がほとんど見られないように思う。県や市でその状況を把握しているか。また、その対策について考えがあれば、確認したい。(委員)
- ・ 河川管理者として調査したわけではないが、周辺の流域も含めてカワウが多くなっていることは認識している。こういった状況への対策は、河川管理者だけでは対応できないため、関係機関と連携し対応していくことを整備計画の中に記載している。(事務局)
- ・ 水辺に親しめる河川環境を創出するには、ある程度人工的な改変は必要であると感じている。例えば、各校区で河川の近いところに、せめて 1 箇所でも河川に立ち入ることができる場所をつくり、自然観察や環境学習ができる場所をつくる必要があるのではと考えている。学校で習うことと地域で学習していこうということにギャップがあるため、学校で習っても実施に基づかないとあまり意味がない。そのため、水辺に親しめる場所をできるだけ創出してもらえればありがたい。また、淵や瀬は、改修後に自然的にできるものは非常に浅いものしかできない。お金をかけないで、河川内にあるブロックや石などを並べて、魚が滞留できるような場所をつくるなど、今ある中でできるだけ努力をお願いしたい。(委員)
- ・ 河川に親しむ、水辺に親しむということについては、小さい頃からいかに川と触れ合うかということが大切であり、子供たちが川において、観察できるというのが大切なことだという意見を昨日の小野・加東ブロック懇話会でも頂いた。河川整備をやっていく上で、こういったことも考慮しなければいけないと考えており、できるだけ反映させていきたい。(事務局)

- 
- ・ 親水性については、多自然川づくりの1つの柱でもある。一方で、川に近づくことは危険性を伴うこともあり、難しいところもある。この加古川流域の場合は、鉄砲水のように急激に増水するというところは特に聞いていないが、安全性も含めて検討していただければと思う。(会長)
  - ・ この計画は概ね30年に1回の確率ということだが、加西地区では、概ね1次改良が済んでおり、大体何年確率の河川となっているのか。(委員)
  - ・ 記載している内容は、計画の対象期間であり、30年間の整備計画を提示するという意味である。なお、万願寺川、下里川、普光寺川は昭和58年や60年の災害を受けて既に改修済みであり、おそらく1/20から1/30程度の確率であったと思う。(事務局)
  - ・ 河川によって多分違ってくるが、確率規模を計算すると概ね20年から30年確率規模の洪水に対して目標を設定していると考えていただければと思う。(会長)

## 2) 意見・要望

- ・ 最近、ゲリラ豪雨などが発生しているが、雨量はどの程度増えているのか。(委員)
- ・ おそらく、顕著に増加しているということはないのではないかと。全国的に見ると、降雨量は減少傾向にある。ただし、1時間に80ミリや100ミリというような、集中豪雨がある限られた地域に降る頻度は増えている。(会長)

## 5. 議事2 (河川の整備と実施に関する事項)

### (1) 河川の整備と実施に関する事項 (第2章第1節～第3節) : 事務局説明

#### (2) 討議

##### 1) 河川の整備と実施に関する事項について

- ・ 総合治水について、加西市ではため池が老朽化しており、たくさんの補修をしなければいけない。予算の面もあり、多くのため池を短期に補修することはできない。総合治水との関連性や連携について教えてほしい。(委員)
- ・ 最近のゲリラ豪雨、局地的な大雨に対し、これまでの河川改修や下水道対策等のハード整備だけでは対応が難しいため、今年4月に総合治水条例を策定し、山の保水力、ため池や水田の保水力も期待し、総合的な計画をつくっていかうとしている。その中で、ため池の水位を下げ、大雨が降ったときに貯めるということも考えられるが、老朽ため池という問題が必ず出てくる。総合治水の計画をつくっていくに当たっては、土木事務所だけでなく、農林振興事務所、土地改良事務所等と連携し、計画をつくっていかうとしている。その計画づくりの中で議論が進んでいけばと考えている。(事務局)
- ・ 万願寺川流域は、治水の整備は進んでいるが、環境面で問題があるところも残っている。その1つが河川の連続性である。魚道が整備されていない、あるいは魚にとって移動を妨げるような河川工作物が多いということである。おそらく治水的には取水堰のゴム堰が多いと思うが、現状はどうなっているか。(会長)
- ・ 加西市域の河川は、下里川、万願寺川、普光寺川が主な河川となる。これまでの災害を受けて概ね改修済みであるが、単にゴム堰をつくる、落差工をつくるといった整備をしており、魚道は設置されていなかったと認識している。こういう現状のもと、まずは、万願

---

寺川の一部で、井堰管理者と河川管理者で協議した上で役割分担を決め、魚道を設置してきたという経緯がある。**(事務局)**

- ・ 残っているところについても順次改修していくという方向でよろしいか。**(会長)**
- ・ 具体的な計画は今のところない。現在は万願寺川を対象として計画的に整備を進めているが、その他の河川についても、今後、管理者と調整を図りながら進めていく必要があると考えている。**(事務局)**
- ・ 魚道を設置した後、魚道が機能しているかどうかについて維持管理していくことにも注意していただきたい。**(会長)**
- ・ 中野町の羽井田井堰には魚道が設置されているが、今年の台風 12 号の際に井堰下流の両岸の堤防が一部崩れている。河道の真ん中に魚道が設置されており、以前は左岸側に水が流れていたのが、両側へ流れるようになり、その影響もあって堤防が崩れたのではないかとも思う。魚道を設置することは非常にいいことであるが、設置方法をもう少し考えてもらいたい。**(委員)**
- ・ 台風 12 号の際、加西市内の河川では、ほぼ全川にわたりブロックの天端よりも水位が上昇したことで、河川水が堤防の中に浸透し、その背後に水が溜まった。その結果、水位低下時に、背後から水圧がかかり、ブロックを押し出すことで被災を受けたと考えている。万願寺川の場合は魚道の設置が影響を及ぼしたものではない。ただし、今後、新たに魚道を設置していく際は、設置後の維持管理も考えた上で、場所や構造について考えていく必要があると認識している。**(事務局)**
- ・ 加西市は、河川改修が進んでいるので、河川からの溢水等による災害は少ないが、今年の台風 12 号では、私が住む集落の 145 戸中、22 戸で床下浸水が起こった。河川へつながる水路の改修が遅れているためと考えられるが、今後もゲリラ豪雨が多く発生すれば、そういう危険性が強まるので、加西地域に残された課題であると思う。**(委員)**
- ・ 内水の問題だと思うが、具体的ではないにしろ、計画の中に位置づけられていると思うが、いかがか。**(会長)**
- ・ 来年度以降、加古川流域においても総合治水推進計画を検討していく。その中で関係者と協議しながら進めていく。**(事務局)**

## 6. 議事 3 (今後の予定)

### (1) 今後の予定：事務局説明

### (2) 討議

- ・ 意見なし (了承して頂いた)

## 7. 閉会挨拶

：兵庫県総合治水課 調査環境係 秋田主査  
以上